

# 創学舎ニュース

Sougakusha News

## No.304

### 卒業おめでとう



「ご卒業おめでとう」が、新しい制服、新しい学校、新しい友人、そして、新たな目標に胸をときめかせている皆さんが、震災復興への希望の灯になるのだと思います。ご入学おめでとうございます。

(座安 明奈)

別れと出会いの季節ですね。君たちと出会えたのも保護者の皆さまのおかげです。本当に感謝です。君たちの澄んだ瞳をみられなくなるのはさみしいけれど、どうかその目でずっと未来を見続けてください。卒業おめでとう。

(五日市 浩)

皆さんはそれぞれ様々な困難を経て、今を迎えました。これまでの経験が、これから直面する様々な状況でフルに生きることを、そして素敵な大人になることを願っています。

(上野 真宏)

卒業おめでとう！高校入試という人生でとても大事なイベントで、皆さんは様々な経験ができたと思います。両親や周りの人の優しさ、受験勉強という厳しさなど普段の生活では経験できないものです。この経験はみなさんのおかげがえのない財産になりました。この経験を活かして、次の大学受験や就職に臨んでください。応援しています！

(長坂 浩之)

卒業おめでとう。これからの生活を存分に楽しんでください。そして自分のやりたいことを見つけ、それをおもいつきやってみてください。その夢をかなえるために必要なことはめげずに続けよう。そのための力は創学舎で学んでいるはず。

(松永 弘文)

「信は力なり」今の自分、そしてこれからの自分を強く信じて、前に向かってください。疲れたら歩いてもいいと思います。ゆっくりでも確実にみなさんの目標に到達できるはずだから。

(瀬野 武士)

知を磨きながら一日でも早く精神的自立をして下さい。

(柳 善一)

愛情たっぷりぶりの「つるしの刑」から逃れ、「墓場までの追いかけ」の宿題提出期限のプレッシャーに耐え抜いた皆さん、これからも道具・手段として使える英語修得への努力を惜しまず、楽しい高校時代を送ってください。オメデト。

(新島 景子)

受験を終えた皆さん、お疲れ様でした。結果は人それぞれかと思いますが、受験を通して得るものがあつたでしょう。その全てが皆さんの財産です。どうぞ、大切にしてください。

(由比 達也)

学生生活を能う限り濃密に過ごせ。建設すべき伽藍を胸に抱け。「今どきの新卒って……」と言われるような学生に決してなるな。あの時から私たちはこまめに歩いてきた、といつの日か共に言えることを願って。

(武内 梓朗)

卒業、そして高校進学おめでとう。少しずつ長い人生の途中、次の目標に向かって頑張ってください。

(岡本 武)

「卒業おめでとう」が、入学も、卒業も、入試も、1つのステップです。どんなに少しでも、毎日進んでゆくと、半年後には幅跳びしたくらいの距離を進んでいるはず。小さな一つを大切に。

One Step a day!

(高橋 麻衣子)

「卒業おめでとう」が、君たちは受験を通して様々な経験をしたはず。これらの経験を是非今後の人生に生かしてください。君たちの更なる飛躍を楽しみにしています。

(村田 寛之)

「卒業おめでとう」が、自分の進むべき道を決めて、それぞれの目標に向けて努力を毎日少しずつしていくようにして下さい。困った時はいつでも教室に来て下さい。少しは力になれると思います。

(小林 英一)

卒業生に対し毎年思うことは「君たちからいろいろと教えてもらった」ということです。大変感謝しています。そこで君たちの卒業を祝して乾杯したいと思います。グラスの用意はよろしいですか。

「卒業おめでとう！乾杯！」

(山崎 将之)

中学校から高校へ、高校から大学へ(人によって準備校へ)と人との交際範囲が広がります。人との出会い、人間関係を大切にして下さい。人とのつながりは何よりも大切なものです。自分の可能性を追求しましょう。

(村上 静馬)

卒業おめでとう。これから様々な道が広がっているかと思えます。今までの学校でやったこと、そして創学舎で学んだこと、この生活を活かして充実した生活を送ってください。

(中村 瑤一郎)

卒業ならびに進学おめでとう。本来的には、晴れがましい門出の季節ですが、世の中は大変厳しい状況に直面しています。しかし、こんなときだからこそ、ぜひ英知をみがいて下さい。君は私達の希望の星なのです。

(関 憲吾)

山たかみ くもみに見ゆる さくら花  
心の行きて をらぬ日ぞなき  
『古今集』 右大将の長寿を祝う女官の歌より

(鮎澤 崇嗣)

卒業おめでとう。新しい環境の中で、新しい目標を見つけ、日々、チャレンジして下さい。やりたいこと、なりたい自分、ほとんどの事は実現できますよ。

(大場 健司)

卒業おめでとう。ここまでよく頑張ってきましたね。本当に、本当に、大変だったと思います。自分の思い通りに未来を掴んだ君。是非、自分の周りにいる家族や友人に感謝して下さい。自分の思い通りにならなかつた君。君はこの世に神様はいないと思つたかもしれないけれど、神様は君を見放してなんかいませんよ。来年あるいは3年後に今年の分の笑顔を冷凍保存していただきます。解凍するのは君自身です。君が自分史上最高の頑張りを続けた先にたどり着くと……私たちは「ずっと」信じています。忘れないうで。私たちは「ずっと」あなたの味方です。

(松尾 裕史)

卒業おめでとう。健康に留意し、親に感謝し、友を大切に、学びを尽くし、自分が心から打ち込めるものを見つけ、自分の能力を最大限に発揮し、世の中のことを知り、貢献し、自分になれる最高の自分になりなさい。

(小林 健輔)

これからの高校生活は、いままでとはレベル違いの新しい変化が様々に訪れます。それら乗り越えるには、相当の努力と忍耐を要します。時には心が折れそうになる時もあるかと思いますが、みなさんを支えてくれる人が必ずそばにいることを思ってください。たまには顔を見せに来てください。

(真鍋 真悟)

「卒業おめでとう」が、これからのいろいろな局面に遭うと思いますが、臆することなく、一歩を踏み出して下さい。世界に誇れる良い国をとにつくりましますよ。

(小池 寿幸)

Congratulations! and commencement  
胸を張って各々の大学の門をくぐれ! そこからが君達の出発だ。ゴールは果てしなく先にある。大学ではあらゆる事をやり尽くせ。が、君達が学問の徒であることを忘れるな! この様な時代にあつて、学問は人生の羅針盤だと信じて! そして、今春君達と同じく大学生としての一歩を踏み出すことを夢見ながら、災禍の中で息絶えた若者の思いがあつた事を忘れずに居てほしい。

(上 静恵)

「卒業おめでとう」が、これで義務教育終了となりますが、「学習」(勉強に限らず)はこれから本場のスタートです。今まで身につけてきた自己学習能力(自分を促すこと)がますます重要になります。せっかくなので、是非とも継続してください。大きな力になります。

(本多 隆範)

「卒業おめでとう」が、皆さんは人生で一番最初の難関とも言える高校入試を乗り越えました。その努力はこれから先、社会に出たときに大きな糧となるはず。この経験を遭ったときでも「よし、頑張ろう」と思える人間になつてもらえれば私は嬉しいです。

(阿部 浩明)

# 「そこのそこの」

## 「徹底」の間

●卒業生にJ学院の野球部員がいました。

毎日素振り五〇〇回。公立K高校の生徒も五〇〇回。毎日毎日です。「三〇〇回ならおれだってやっている」と言う人は何人もいました。公立H高校の吹奏楽部は大したものです。勉強もやって、部活は関東大会の常連。いやいや、他の中学・高校の吹奏楽部だってそれなりに頑張っています。

●勿論、きみだってそうでしょう。毎日毎日、メニューをこなしながら、自分なりの工夫をして上達しようと、「そこそこ」燃えています。毎日毎日。上達するために練習は続きます。

●勉強に目を転じると、真つ先に三人の名前を思い出します。

◇一人は新柏教室の一生徒。面識はないのですが、すごい。中学生の英文テストで満点を取り続けているそう。立派です。英検1級を何人も知っていますが、みんな反復の鬼です。この生徒も、ものすごい数の反復をしているはず。

◇もう一人は、大学受験部のSくん。英単語を毎日一九〇〇個、英熟語を一〇〇〇個やっていました。要するにターゲット一九〇〇とターゲット一〇〇〇を毎日全部やっていたのです。創学舎生ですから、当然

五分とか一〇分とか空き時間を集めて済ませてしまいます。

◇もう一人は、同じく大学受験部のN君。ストップウォッチを手に勉強していました。勉強に向けた時間を一分単位で記録し管理するためです。

勿論みんな「そこそこ」はやるのです。

●さて、「そこそこ」と「徹底」の差は何でしょう。「そこそこ」では、自分の能力も可能性も最大限には発揮できません。「徹底」してやってこそ望む結果を手に入れる可能性が大きくなるし、能力も発揮できます。

きみ達を前に授業をしていると、伸びたいという気持ちや伝わってきます。ダラーとして見える生徒でも、実は頑張りたいのです。そして、これは私の信念ですが、どんな生徒でも必ず伸びます。勿論、そのためには、勉強のやり方から、習慣の改善まで、いくつものポイントはあります。



その一つが、自分なりに「徹底」してやること。(因みに「徹底」も深化、進化します。S君は、単語五〇個でも、最初はヒーヒーでした。)

●ちょうど時期も学年の変わり目。一つの教科でも、一つの課題でもかまいません。

「やめない。繰り返す。」を目標に動いてみて下さい。

●そうそう、O君が動き出しました。構文のテキスト(MARCH)東大レベルの八行

一〇行ぐらいの英文四〇個)を訳す練習を先日、一六〇回やりました。そして、続いています。「高校の英語の教科書なら見た瞬間に訳せる。」そんな日も近いはず。楽しみです。

●「そこそこ」だと勉強がイヤなままです。

「徹底」だとイヤでなくなります。「そこそこ」だと、自分に自信はつきません。「徹底」だと自分もやれるという気になります。

で、私達は、きみ達の「徹底」に向けて、今日もがんばります。(小林(健))

## 人生づくりに

### 生かしてこそ真価

●我々が生きていくのに必要とされている事は色々あると思います。中でも「自立」「勇氣」「社会適応」そして知識・技術の習得などが重要であることはみな認めていることです。

●さて、受験期はちょうど一人の人間として自立を始める、いわゆる「自立期」と重なり、人間としてより善く生きる為に必要な知識や知恵を本能的に求める時期であります。そして受験は確かに、わが子の人間づくり(将来のための土台づくり)と深く結び付いているということです。

●受験期と自立の時期が一致しているのも、ただの偶然ではありません。受験も有意義な人生づくりに生かしてこそ初めて、その

真価が発揮され、またそれができるように、受験には人生に必要なパターンがかなり集約されていることを知ることが肝心です。

●それを知らずに、単に志望校に入れることしか念頭にない考え方で臨むとどうなるのか。

●高校生に関する最近の意識調査が、その解答です。それによると、二つの大きな特徴が指摘されています。一つは、「人間としていかに生きるか、人格をどう形成するか」を教えてほしいという本音と、もう一つは、自分を過小評価するという一般的傾向です。

●つまり、彼らは高校生になっても、まだ「どう生きるか」の「ど」の字も学んで(教えてもらって)いないということです。そのため、人生これからという矢先に、早くも自分をダメ人間と評価してしまうというとんでもない間違いを犯してしまうということです。

●これでは、莫大な時間をエネルギーと費用をかけて取り組んだ入試は一体何だったか、と問わざるを得ませんが、いかがでしょうか。



(柳)

### ☆☆☆継続希望の方☆☆☆

- 卒業や転校等で創学舎を離れた方にも、ご希望があれば創学舎ニュースを無料でお送り致します。
- 継続御希望の方は、在籍していた教室までご連絡下さい。